

第 8 回多摩薬々連携協議会議事録

日時：平成 15 年 6 月 19 日 18:30～20:00

場所：八王子薬剤師会事務所（ファルマ 802 4 階）

出席：病薬委員；明石貴雄、阿部宏子、村田和也

都薬委員；戸塚淳逸、上村直樹、茂木徹、山田哲道、堀博昭、下平秀夫、
斎藤伸介、山田政人

旧地区協；谷口廣光、新井裕美、小坂一郎、村田正弘、等淳一郎、沖山洋子

欠席：阪本康典、前田良廣、吉尾隆、根岸務

議事

1、 会則の検討

会則案をもとに協議した。主に、会費についての協議がおこなわれた。

- ・上村委員より「現在は個人としての参加であり、北多摩支部としての参加は支部理事会での承認をまだ受けていない。支部としての参加及び会費負担にあたって、支部理事会で承認を受ける為に、会の経緯、目的が解れば説明し易いので、会の主旨、目的の資料があれば欲しい。」との要望が出た。
- ・谷口支部長より「交通費は原則 3 千円をプールして使う。会費の中には寄付金がある。」ということの再確認がなされた。
- ・谷口支部長、等先生より「会計担当理事をつくったほうが良い」との意見がでた。

決定事項

- ・会の主旨、目的の資料は地区連絡協で以前協議したことをもとに、山田（政）委員が送る。
- ・会費は 1 支部 5 万円 7 支部合計 35 万円とする。
- ・後日、会計担当理事をつくる。

2、 「第 1 回多摩薬々連携協議会研究発表会」の準備について

第 1 回目の詳細の詰めと 2 回目以降の方向性を協議した。

- ・戸塚委員長より「今回はお披露目会であり、各支部には会員の動員をお願いしたい。会場は 200 人入れる。主体は八王子、南多摩、町田支部で集めたい。」との要請があった。
- ・茂木委員より「3 支部で 80 人位集まる。」との回答があった。
- ・村田（和）委員より「病薬は 50～60 人集まる。」との回答があった。
- ・村田（和）委員より案内状の案をもとに今回のシンポジウムについての説明がおこなわれた。「第 1 回はメーカーの話の後、各委員長が発足の経緯を話す。その後茂木、

堀委員が研究発表をする。最後に開局、病薬のディスカッションをおこなう。第2回目以降はメーカーの説明、講師をよんでの講演、ディスカッションという内容でおこないたい。会場費、講演料のため、会費は会員1人500円とする。(病薬の慣習による)さらにメーカーから協賛してもらう。」

その後、研修会費徴収の可否、メーカー協賛の必要性、講師による講演の必要性、案内状の内容等が協議された。

決定事項

- ・初期の段階ではメーカー協賛や講師による講演は人集めの為に必要かもしれないが、段階的に方向性を変え参加型の研究会に持っていくと言う共通認識を得た。
- ・案内状(案)の修正をする。(誤字訂正、発表者の変更、後援：東京都薬剤師会を支部名に変更)
- ・会費は1人500円とし、会員薬局社員も同額とする。建前上非会員は1,000円とする。
- ・八王子、南多摩、町田支部で80人、北、西多摩支部で30人、病薬で50人の動員を要請し支部長の了解を得た。
- ・当日、弁当は出さないで、お茶だけ出すこととする。
- ・次回予定の9月9日の研修会は中止とし、11月18日を第2回とする。

3、 その他

多摩南部地域病院 薬剤科長 沖山洋子先生の紹介があった。

次回第9回多摩薬々連携協議会は平成15年9月9日(火)18:30から八王子薬剤師会事務所でおこなう。

以上

記録者 山田政人